

平成30年度地方教育行政功労者表彰について

地方教育行政功労者として、本県では次の方々が文部科学大臣から表彰されます。

1 表彰の趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員等を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資する。

2 被表彰者（年齢は、平成30年10月5日現在）

	氏名	年齢	主要経歴
県教育委員会関係	しもざき くにあき 下崎 邦明	67	前 広島県教育委員会教育長
市町教育委員会関係	みずの よしゆき 水野 良行	79	前 呉市教育委員会委員
	すえのぶ たけお 末信 丈夫	73	現 庄原市教育委員会委員（教育長職務代理者）

3 被表彰者の概要

別紙のとおり

4 表彰式

- 平成30年10月12日（金） 12時20分から14時20分
- 文部科学省講堂（東京都千代田区霞ヶ関三丁目2番2号）

5 参考

この表彰制度は、昭和58年度に発足し、平成29年度までに本県からは、150名（県教育委員会関係15名、市町教育委員会関係135名）が表彰されています。

【担当】

秘書広報室 教育広報係長
（直通電話）082-513-4934
（e-mail）kyoukouhou@pref.hiroshima.lg.jp
学校経営支援課 管理主事
（直通電話）082-513-4966
（e-mail）kyokeiei@pref.hiroshima.lg.jp

平成 30 年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

しもざき くにあき
下崎 邦明 (67 歳)

1 略 歴

平成 23 年 4 月 1 日 広島県教育委員会教育長に就任
平成 30 年 3 月 31 日 広島県教育委員会教育長を退任

2 功労の内容

(1) 功労全般

卓越した見識で、教育行政の重要な施策を立案・実施するとともに、教育現場の実態把握に努め、施策に反映させるなど、積極的に教育行政の推進に取り組んだ。

(2) グローバル人材の育成

グローバル感覚を持った人材を育成するために、県立学校と海外の学校との姉妹校提携や交流を促進するとともに、生徒の留学を支援することにより、グローバル社会に対応できる幅広い視野を持ち、主体的に行動するコミュニケーション能力を身に付けさせ、高校段階でより多くの生徒が留学できるよう尽力した。また、小・中学校段階では、異文化間協働活動を推進することにより、グローバルマインドが涵養されるよう尽力した。

(3) 主体的な学びの推進

これまでの知識・技能の習得を重視した学びに加え、獲得した知識・技能を活用し、協働して新たな価値を生み出すことを重視した主体的な学びの充実を図る「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を平成 26 年 12 月に策定し、変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力の育成に取り組むとともに、「学びの変革」を先導的に実践する広島叡智学園中学校・高等学校の設置に向けて尽力した。

(4) 乳幼児教育の推進

子供が育つ環境にかかわらず、全ての乳幼児にこの時期に育みたい力の育成に向けた教育・保育が、家庭、幼稚園、保育所、認定こども園などで行われ、小学校以降の教育の基盤が培われることを目指して『「遊び 学び 育つ ひろしまっ子！」推進プラン』を平成 29 年 2 月に策定し、本県の全ての乳幼児の健やかな成長に向けて尽力した。

平成 30 年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

みずの よしゆき
水野 良行 (79 歳)

1 略 歴

平成 13 年 9 月 26 日 呉市教育委員会委員に任命

平成 29 年 9 月 25 日 同 退任

2 功労の内容

(1) 功労全般

呉市教育委員会委員に任命されて以来、歯科医としての豊富な経験と知識をもとに、教育に関する諸課題に対し積極的に意見具申するなど、呉市の教育行政及び学校歯科保健の充実、発展に寄与した。

(2) 学校教育の推進

平成の大合併により新しい呉市が誕生したが、それまで各町において取り組んでいた教育・文化を引継ぎ、発展させ、新呉市の教育環境の確立に貢献した。

また、平成 12 年度に文部省から指定を受けて研究している小中一貫教育については、市内全中学校区で開催する研究発表会に積極的に参加し、現場の声を聞き、その意見を生かせるよう教育委員会会議で協議するなど、小中一貫教育の発展に尽力した。

さらに、平成 23 年 7 月に呉市で開催した「小中一貫教育全国サミット」では、呉市が進める小中一貫教育を全国的に発信することに大きく貢献した。

(3) その他

平成 23 年 4 月から平成 29 年 9 月まで呉市青少年問題協議会委員に就任し、いじめ・虐待など青少年の諸問題に対し、問題解決に向けて積極的に取り組んだ。また、平成 23 年 5 月から平成 29 年 9 月まで呉市環境審議会委員に就任し、環境教育の推進に貢献した。

平成 30 年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

すえのぶ たけお
末信 丈夫 (73 歳)

1 略 歴

平成 18 年 7 月 1 日 庄原市教育委員会委員に任命
平成 19 年 5 月 1 日 庄原市教育委員会委員長に就任
平成 27 年 3 月 31 日 同 退任
平成 27 年 4 月 1 日 庄原市教育委員会委員（教育長職務代理者）に任命

2 功労の内容

(1) 功労全般

庄原市教育委員会委員長に就任以来、持ち前の優れた識見と卓越した指導力を発揮し、教育行政の発展充実に献身的に取り組む一方、教育委員の学校訪問や教育行政視察の実施など、教育委員会の活性化に努めた。

新教育委員会制度へ移行したことにより平成 27 年 3 月 31 日をもって委員長の職を失したが、平成 27 年 4 月 1 日から教育長職務代理者として庄原市教育行政の円滑な推進とその充実に努めている。

(2) 学校教育の推進

小規模小・中学校の適正化を円滑に進め、計画の完了に大きく貢献した。

また、問題を抱えた児童・生徒に対する取組として、教育交流教室指導員を増員し学校生活に適応できない児童・生徒への指導環境を充実させたほか、スクールカウンセラーの配置、いじめ防止対策委員会の設置など、児童生徒への指導体制の充実に尽力した。

(3) 生涯学習の推進

市立公民館の自治振興センター化のほか、庄原市民会館などの生涯学習施設の指定管理者制度への移行を積極的に進め、生涯学習事業の振興と効率化に貢献した。

(4) その他

学校施設の耐震化事業を積極的に進め、学校環境の向上に貢献するとともに、学校への訪問を積極的に行い、自身の豊富な経験を基に指導・助言を行い、教職員の資質向上に大きく寄与した。